

3年生のみなさん、今までの頑張りをいよいよ発揮する最後の都市大会がもうすぐになりました。コンディションや気持ちの準備は充分にできていますか？都市大会を勝ち抜いて県大会、関東・全国大会に進める人もいるでしょうが、私はどんなに相手が強かろうが、弱かろうが、全力を出し切るところにスポーツの意義があると思います。今までの練習を相手にぶつけ、終わった後に相手の頑張りまで褒められるような大会になることを願っています。

さて、武道の世界には「礼に始まり、礼に終わる」といった言葉があります。この言葉を聞くたびに私は思い出すことがあります。それはみんなの身近な先輩である去年の柔道部の卒業生たちのことです。

柔道部の先輩方のチームには君たちのように一生懸命練習をし、県大会入賞という素晴らしい成績を残した選手もいました。しかし、コロナウィルスの影響で最後の大会が中止となってしまった後も、当時、赴任してきたばかりの私に対して愚痴一ついわず、「コロナでしょうが無いですよね」と言いながら、試合が無いのにも関わらず、基礎体力づくりのトレーニングに黙々と打ち込み、試合でその実力を発揮すること無く引退していった姿がとても印象的でした。

彼らも本音で話を言えば、試合で自分たちの力を出したかった気持ちがあったのかもしれませんが、しかし、その気持ちは自分たちが直面した事実を受け入れ、次の目標である受験や学校行事に切り替えることができた立派なものだったと思います。そして、私は彼らの気持ちを考えるたびに、その礼儀正しい生徒たちだったなと感じ、最後まで柔道という武道を立派にやり遂げた生徒たちだったなと思いました。

そんな先輩方の後輩である今年の3年生の選手のみなさんには、まず試合が行えることに感謝して欲しいと思います。そして、同時に礼儀やマナーを大切にして最後の練習に取り組んで欲しいと思います。

そして、最後の試合が終わった時には、中学の部活動で頑張った自分自身をしっかり誉めてあげてください。部活動をやって良かったなぁと思う充実感やスポーツの良さを味わって活動を引退して欲しいと思います。

部活動の練習もあと少しの時間になりました。怪我をせず、ベストのコンディションづくりをして、試合に向かってがんばってください。皆さんの活躍を応援しています。

